

4 医療相談

窓口では、医療に関する様々な相談を受けている。

切り傷などで軽微なものは、消毒薬を塗布したり傷テープの支給で処置しているが、受診が必要な者には大阪社会医療センターに診療の依頼を行なっている。また、冬季、インフルエンザの流行時などに、ポケットティッシュや簡易マスクの配布を行ない、併せて衛生に関する啓発を行なった。

本年度、傷テープの配布及び軽微な処置は 10,344 件、ポケットティッシュの支給を 7,400 件、診療依頼 8,032 件、他機関案内（歯科など医療センターに診療科目がない場合）819 件、救急車による搬送 17 件の合計 26,612 件であった。（表Ⅱ-9）

5 労働者援助

(1) 短期宿泊援助

仕事に就くことができなかつたり、働いた賃金が受け取れないなどの事情で困っている労働者に対し、1967 年(昭和 42 年)より宿泊と食事の提供を大阪自彊館(三徳寮)に依頼している。

本年度は、相談数 2,335 件、措置依頼 1,279 件、宿泊件数 1,268 件であった。

別途、大阪府簡易宿所生活衛生同業組合の協力により、1999 年(平成 11 年)8 月から簡易宿所への無料宿泊紹介を行なっている。本年度は一日 6 名を限度に 630 件の紹介を行なった。

(2) 疾病援助

困窮している労働者に対し、衣類、洗面セット、使い捨てカイロなど 27,560 件の援助を行なった。支給している衣類は、寄贈されたものを利用するとともに、下着類は購入している。本年度の古着の寄贈は 9 件あった。

また、NHK 歳末たすけあい募金よりあいりん現地懇談会を通じ、下着・ティッシュ等の寄付をいただいた。

なお、冬季に配布したカイロは、購入したものの他、桐灰化学株式会社より 2 回にわたって 40 ケース(9,600 個)の寄贈を受けたものを合わせて配布した。

(3) 生活援助

就労・賃金受領・労災手続等を行うために必要な交通費に困っている労働者や、その日の食事代や宿泊費が不足している労働者に対し、実費程度の少額の金銭援助を行なっている。

本年度の相談数は 541 件で、措置は 166 件であった。（表Ⅱ-9）

(4) 労働関係相談・生活身上相談・その他の相談

「労働関係相談」は、就労に必要な事業所の住所・電話番号調べ等が 1,381 件、雇用保険の相談が 636 件の合計 2,017 件であった。

「建設業退職金共済制度(建退共)」は、建設関係に就労する現場労働者の退職金制度で、本年度は、建退共制度の案内 392 件、手帳作成相談 239 件、手帳作成手続援助(更新・再

交付を含む)が100件あった。なお、手続援助は2000年(平成12年)7月から行なっており、累計で492名の労働者が手帳を手に入れている。

「生活身上相談」は、住民登録のための相談が902件あり、186件の請求手続を援助した。住民票の異動は、雇用保険手帳を作ることを動機に行われる場合が大半を占めているが、近年は高齢化を反映し、年金受給や脱退一時金の給付のための手続きも増える傾向にある。

手続きに際して、郷里と長い間連絡を取らずにいたり、以前の住所地がハッキリしないなど、簡単に転出手続ができないこともしばしばである。また、請求しても長期間不在のため職権消除されていることも多く、二度三度のやり取りを行なうことがある。更に、戸籍そのものが失踪宣告によって除籍されている場合は、復籍のため家庭裁判所へ手続きをする必要がある。

健康保険の送付手続きは、遠隔地に出張している労働者が帰阪し、資格確認の手続きを行なったものの、取次ぎに一日かかるため、出張先へ保険証を送って欲しいという要望にもとづいたものである。本年度は97件であった。

「住宅相談」は242件にのぼった。従来から住宅相談の一つとして「単身者向けUR住宅(旧公団住宅)」への入居案内を行なっているが、近年、住宅に関する社会的資源の問合せや、簡易宿泊所からアパートへの転居相談などが増えつつある。

「その他」は、センター業務の説明や他施設・機関に関する案内、「出張先の天候を知りたい」「爪切りを貸してくれ」など日常生活を補うこまごました要望のほか、飲酒者への対応775件を含め5,912件であった。(表Ⅱ-10)

主な業務の歴年変化は、(図Ⅱ-3)のとおりである。

6 労働者福利厚生

労働者の文化、娯楽に資するため、9月3日(金)に府立淀川工業高等学校吹奏楽部を招いて、萩之茶屋南公園(三角公園)で「たそがれコンサート」を開催した。

雨のため1日順延しての実施であったが、約1,600名の労働者がつどい、懐かしのメロディーなどの演奏に憩いの一時を過ごした。なお、たそがれコンサートは1981年(昭和56年)より実施され、府立淀川工業高等学校吹奏楽部の演奏は、1990年(平成2年)から行なわれている。(平成元年は、雨天の為中止)

また、11月8日(月)には23名の参加を得て「将棋愛好者のつどい」を開催した。この「つどい」は1981年(昭和56年)から開催しており、1992年(平成4年)より日本将棋連盟の森信夫六段の指導を受けている。

地区労働者の福祉のため、年2回、シャワー室の無料開放を行なっている。今年度、夏は8月17日～19日・23日～25日の6日間(利用者1,538名)、冬は12月27日・28日と1月5日・6日の4日間(利用者687名)であった。

なお、無料開放時には、タオル・石けん・カミソリの給付を行なっている。

7 広報・啓発活動

求人情報・労働関係の啓発・健康知識の普及を図るため、月刊で「センターだより」を2,500部作成し、事務所窓口や寄り場の中央詰所で配布している。また、「センターだより」を地域の関係団体に持参することで地域情報を得るなど、広報紙を通じた交流も深まっている。

編集に当たっては労働者の声を多く掲載するとともに、労働者が親しみ易く、読み易い紙面作りに努めた。また、地区への来客者に「周辺案内」、夏を前に「熱中症」への警告、「建退共」や「労災」制度の啓蒙的チラシを適宜発行した。

一年の主要掲載記事は、(表Ⅱ-11)のとおりである。

また、仕事や生活に役立つと好評の『労働者便利帳』2005年版を12月に発行し、6,000部配付した。

8 日雇労働者福利厚生措置事業

日雇労働者の福祉の増進を図るために本年度は、夏期に16,900円を7,516人に支給し、冬期に18,400円を7,208人に支給した。 (表Ⅱ-14)

2004年度(平成16年度) 医療、緊急措置相談状況表

(表Ⅱ-9)

	医 療 相 談							緊 急 措 置 相 談											
	傷テープ	処 置	ティッシュ	診療依頼	他機関 案内	救急車 依頼	※合計	短期宿泊(自彊館三徳寮)				簡宿 紹介	疾 病 援 助			生 活 援 助			
								相談	依頼	宿泊	返戻		衣類	洗面セット	カイロ	合計	相談	措置	返戻
4月	512	38	600	943	93	3	1,589	448	144	142	96	79	52	223		275	56	19	3
5月	839	53	400	730	101	2	1,725	439	129	129	94	73	71	202		273	57	15	7
6月	819	44	400	728	90	0	1,681	261	148	147	82	71	43	219		262	53	10	5
7月	799	42	500	567	68	1	1,477	184	115	114	95	45	45	159		204	45	12	7
8月	731	41	300	621	73	1	1,467	140	90	89	77	40	17	130		147	50	17	17
9月	901	40	500	618	63	2	1,624	132	100	98	73	42	28	142		170	43	14	6
10月	762	40	400	567	53	1	1,423	112	80	80	76	47	51	127		178	30	5	1
11月	840	44	300	617	57	3	1,561	102	73	72	73	51	86	122		208	34	11	7
12月	806	38	300	548	56	0	1,448	99	73	73	54	19	95	92	3,180	3,367	36	4	6
1月	939	29	1,000	684	46	1	1,699	140	108	106	94	50	39	158	12,720	12,917	39	17	7
2月	845	45	1,000	654	52	1	1,597	125	99	98	86	54	60	150	9,120	9,330	43	18	12
3月	1,058	39	1,700	755	67	2	1,921	153	120	120	92	59	49	180		229	55	24	6
年度合計	9,851	493	7,400	8,032	819	17	19,212	2,335	1,279	1,268	992	630	636	1,904	25,020	27,560	541	166	84
前年度合計	10,518	385	14,900	9,093	1,020	23	21,039	2,533	1,410	1,394	1,046	700	653	2,110	19,620	22,383	503	130	58
前年度比	-6.3%	28.1%	-50.3%	-11.7%	-19.7%	-26.1%	-8.7%	-7.8%	-9.3%	-9.0%	-5.2%	-10.0%	-2.6%	-9.8%	27.5%	23.1%	7.6%	27.7%	44.8%
前々年度合計	11,024	267	14,300	8,114	900	18	20,323	2,442	1,399	1,386	1,037	699	1,111	2,101	8,880	12,092	128	91	45
前々年度比	-10.6%	84.6%	-48.3%	-1.0%	-9.0%	-5.6%	-5.5%	-4.4%	-8.6%	-8.5%	-4.3%	-9.9%	-42.8%	-9.4%	181.8%	127.9%	322.7%	82.4%	86.7%
年間計画		23,000		9,000	960		32,960		1,400			720				13,000		140	

※ 医療相談の合計は、ティッシュを含まず。

※ カイロは、冬季に限定し支給(12/20-2/23)

2004年度(平成16年度)労働関係、生活身上相談状況表

(表Ⅱ-10)

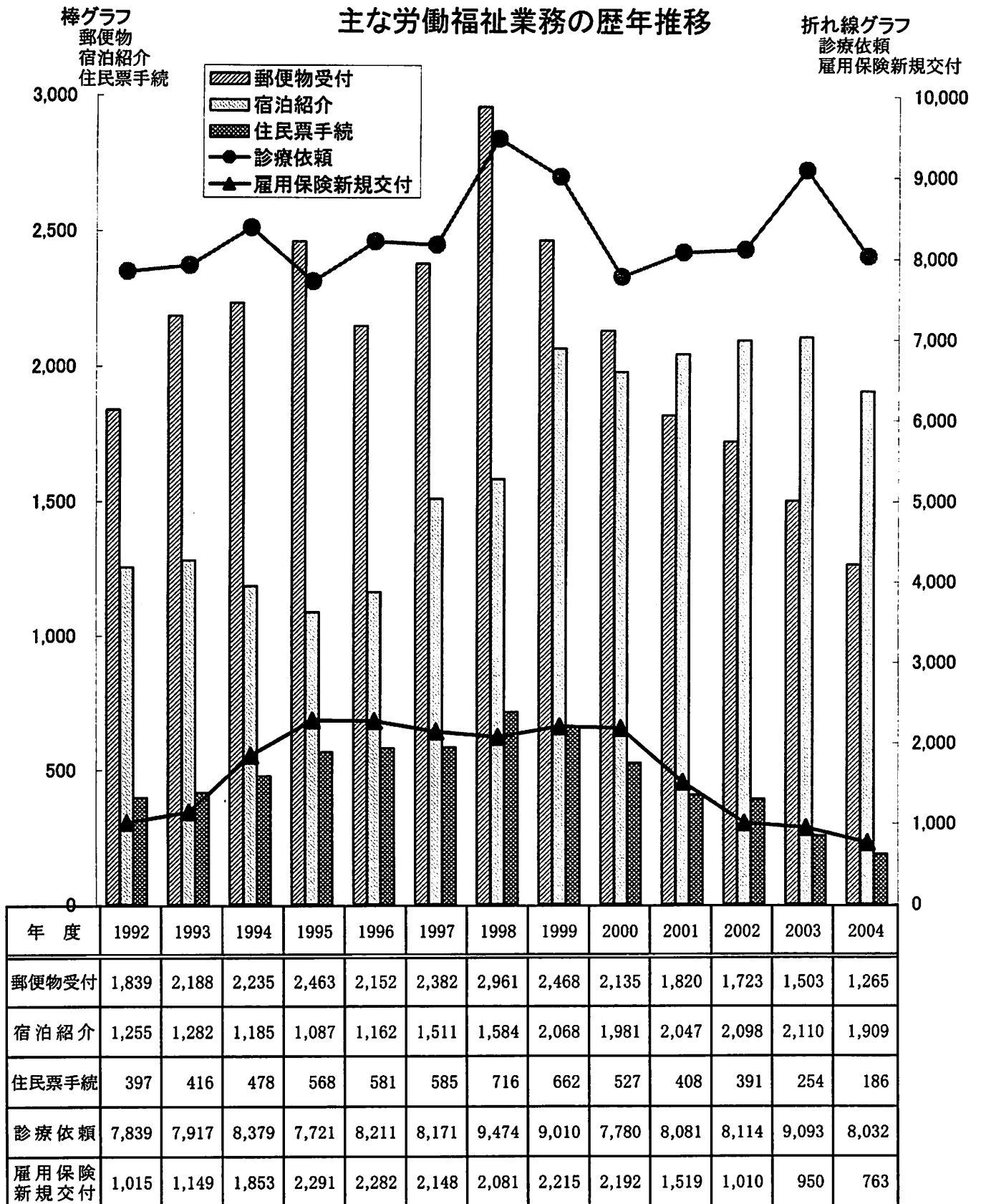
	労働関係相談								生活身上相談											その他		
	就労 関係	雇用保険		建退共手帳			合計	手続	戸籍住民票		健保・年金		郵便物受け渡し		住宅 相談	所得 証明	尋ね人	落し物	合計	手続	飲酒者	その他
		相談	手続	案内	相談	手続			相談	手続	相談	手続	受付	渡し								
4月	150	69	2	32	10	5	261	7	101	28	44	8	144	132	19	2	4	8	454	36	70	490
5月	133	64	0	37	28	11	262	11	104	19	44	11	123	109	15	0	4	5	404	30	54	380
6月	149	56	0	41	35	18	281	18	90	15	42	6	118	112	26	0	6	5	399	21	65	422
7月	98	42	1	25	20	6	185	7	66	10	21	8	103	85	29	1	1	5	311	18	67	395
8月	117	58	1	34	18	12	227	13	71	15	21	4	106	99	18	0	3	9	327	19	45	319
9月	109	51	2	36	15	6	211	8	66	9	26	9	83	81	12	3	4	5	280	18	47	352
10月	92	44	1	24	17	8	177	9	56	15	31	8	91	76	17	1	3	7	282	23	84	394
11月	106	53	2	35	22	9	216	11	53	15	32	13	105	98	11	1	5	5	310	28	71	448
12月	96	49	0	22	12	1	179	1	56	7	27	9	95	88	16	0	3	5	290	16	45	422
1月	104	45	3	30	22	9	201	12	79	15	31	6	99	94	17	4	4	6	334	21	76	440
2月	109	46	2	39	23	10	217	12	78	16	40	8	92	91	30	0	4	4	339	24	66	454
3月	118	59	2	37	17	5	231	7	82	22	37	7	106	90	32	1	3	8	359	29	85	621
年度合計	1,381	636	16	392	239	100	2,648	116	902	186	396	97	1,265	1,155	242	13	44	72	4,089	283	775	5,137
前年度合計	1,476	771	13	337	149	63	2,733	76	1,009	254	508	135	1,503	1,368	173	15	51	65	4,692	389	879	5,584
前年度比	-6.4%	-17.5%	23.1%	16.3%	60.4%	58.7%	-3.1%	52.6%	-10.6%	-26.8%	-22.0%	-28.1%	-15.8%	-15.6%	39.9%	-13.3%	-13.7%	10.8%	-12.9%	-27.2%	-11.8%	-8.0%
前々年度合計	1,173	652	6	283	131	105	2,239	111	1,094	391	325	244	1,723	1,586		24	113	77	4,942	635	842	4,707
前々年度比	17.7%	-2.5%	166.7%	38.5%	82.4%	-4.8%	18.3%	4.5%	-17.6%	-52.4%	21.8%	-60.2%	-26.6%	-27.2%		-45.8%	-61.1%	-6.5%	-17.3%	-55.4%	-8.0%	9.1%
年間計画	1,800				150						240				150				3,000			

※ 建退共手帳手続きには、更新・再発行を含む。

※ 前々年度の「その他」には、住宅相談を含む。

(図Ⅱ-3)

主な労働福祉業務の歴年的推移



〈注釈〉 郵便物受付とは、生活身上相談の郵便物を受理した件数

宿泊紹介とは、緊急措置相談による短泊依頼数と簡宿紹介数の合計数

住民票手続とは、生活身上相談の住民票手続件数

診療依頼とは、大阪社会医療センターへの診療依頼券の発行枚数

雇用保険新規交付とは、あいりん職安が発行した、雇用保険被保険者手帳の新規交付数

2004年度 センターだより主要掲載記事一覧

(表Ⅱ-11)

発行月	号数	1 面	2 面
4月	347	技能講習案内 特掃登録案内	「歴史発見ウォーク」(災害)報告 「声」
5月	348	「高血圧は怖い」 特掃登録者数 輪番紹介のお願い	山谷・寿の現状 労災相談の案内 「あずかり物あります」相談係まで メーデー会場清掃
6月	349	「機械化される建設現場」	センター事業への協力、ありがとう センター窓口案内(図示)
7月	350	高齢者特別清掃、アンケートを実施	事業主懇談会報告 展示「ホームレスと生存権」 犬にかまれない方法
8月	351	温泉に行こう 歴史発見ウォーク番外編 たそがれコンサート案内 ソーメン代の案内	技能講習アンケートまとめ シャワー室案内
9月	352	結核にまけないで パラリンピックにかける夢	たそがれコンサート報告
10月	353	「みんながんばってます」 一高齢者特別清掃の現場— 「将棋愛好者の集い」案内	技能講習受講者の声①
11月	354	「様が変わりした建設労働市場」 インフルエンザに注意	将棋愛好者の集い報告 技能講習受講者の声②
12月	355	「アルコール依存症に向き合おう」 「こんな人も。新潟へ3万円カンパ」 べんりちょう配布案内 南港臨泊案内・モチ代支給案内	「公団住宅」で新生活 年末年始関係機関窓口案内、相談係
1月	356	山本貴司さん年賀状 べんりちょう配布案内 モチ代支給案内	理事長挨拶 クロスワードパズル
2月	357	みんなの初夢	退院後のケアも(医療センター相談室) 健康豆知識⑦後けい(腰痛を手で治す) パズルの回答と当選者
3月	358	2005年度特掃登録案内 (さし絵&写真)	さくらスポット 「歴史発見ウォーク」案内

(常設記事)

- ・ 求人情報・技能講習案内
- ・ 建退共手帳預かっています
- ・ 投稿・釜ヶ崎日誌
- ・ 『カマヤん』・結核検診結果
- ・ およびだし・たずねびと

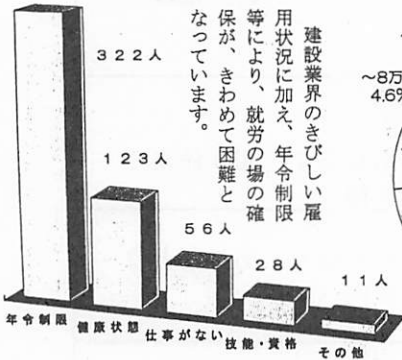
●号外

- (4.15) センター周辺案内
- (6.1) 建退共・労災
- (6.20) 熱中症に注意
- (8.20) たそがれコンサート案内
- (10.25) 将棋愛好者の集い案内

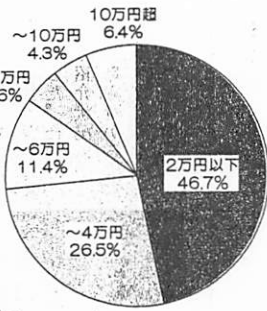
高年齢者特別清掃 アンケートを実施

就労が難しい理由

(複数回答あり)

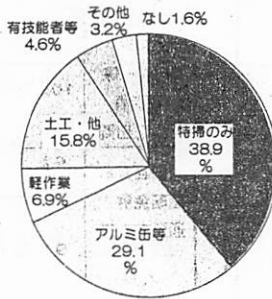


2004年5月総収入



就労は特掃のみという人が最も多く39%です。特掃及びアルミ缶回収は29%ですが、アルミ缶回収は一日かけ回っても平均千円弱という、労働多くして収入が少ないのが実態です。特掃に加えて、それ以外の仕事についている人は、わずか27%です。

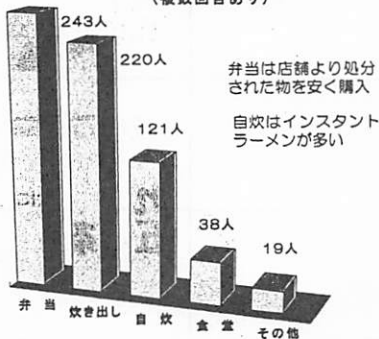
2004年5月就労状況



高齢者特別清掃事業は、大部分が国の緊急地域雇用創出特別交付金を財源としていますが、今年度いっぱい、この交付金は期限切れとなります。そこで、センタ-としても交付金の継続に向けて、国などの関係機関に働きかけ、みなさんの生の声を届けたいと、6月7日・18日に、アンケートを実施し、4377名の方に協力していただきました。平均年齢は60.5才、雇用保険手帳所持者は23.6%でした。(特掃登録者3100名の平均年齢は60.3才、雇用保険手帳所持者は24.6%)

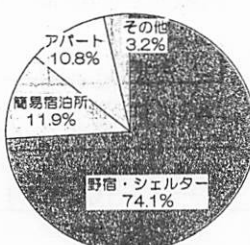
食事について

(複数回答あり)



弁当は店舗より処分された物を安く購入
自炊はインスタントラーメンが多い

住居について



野宿やシェルターでは、就労に必要な明日への休養が取れず、貧困な食事内容は体力・健康を一層おとろえさせます。

現在の特掃輪番は10日に1回であり、月収は一万五千円強に過ぎませんが、就労者それぞれに物心両面の重要な役割をはたしています。それゆえに、今後の特掃への要望の多くが「せめて月に1回か、もう2回増えれば」というような切実なものです。かりに事業が継続されない、あるいは大きく減額されるということになれば、こんなささやかな要望にすら応えられなくなります。事業の継続と拡大が強く望まれます。

声・こえ

- ◆年令で土工の仕事に行ける回数が少ないので、特掃は助かる。土工の仕事に行くために食事は宿泊をしっかりとしたい。特掃が週1回まわらなければ、現金仕事とのバランスをとりながらがんばれる。
- ◆特掃をしたあと下ヤに4・5日は泊まる。シェルターはどうしても熟睡できない。食事は一日一食で、教会の炊き出しを食べている。
- ◆月2・3回でも現金仕事があればいいが、年齢で行けないことが多い。一日千円以下で暮らしている。3年ほど一万円札を見ている。
- ◆55歳になったら土工として使ってもらえない。たまたまに行けそうな話があっても、血圧を測られたら必ずダメになってしまふ。三食はぜいたくだけ、せめて二食は確実に食べられるようにしたい。
- ◆特掃が、収入源と同時に働きがいでもある。週1回あれば気持ちのいい。週1回が、これ以上減ると、がんばる気持ちがなくなる。
- ◆建設業に年令で行けなくなり、自立支援センタ-に入所したが仕事が見つからず、退所後はアルミ缶集めと特掃で生活している。
- ◆金が入った時だけドヤ、それ以外はシェルター。一日二食、昼は弁当、夜はインスタントラーメン。一日の食費四百〜五百円。特掃の収入はすべて食費に。
- ◆昨年比べて月の収入が五千円減った。これはつらい。せめて去年並みに週一回は仕事をさせてほしい。血圧が高いので、これ以上収入が減ると健康面が不安。本心に病気になる。きついな。
- ◆福祉の65才まで何とか生きのびるしかない。
- ◆造船不況で15・16年前に西成に来て、土工をしていたが、今度は不景気で建築の仕事も無くなつた。年をとって全く行けない状態である。せめて週一回特掃があれば、タバコを拾って吸うこと、ヘルパーを雇う、最低の仕事もなくなれば、首を切りたい。
- ◆土工をやっていたが、なじみの業者がなくなつた。一日二食しか食べない。10個入り1200円のタマゴをすすってがんにばって、金がなくて食事抜きになることもある。
- ◆収入のあつた日はドヤに泊まり、温かい食事を食べる。
- ◆「特掃がなくなる」と考えることが恐ろしい。年をとって生活保護をもらえる年までには、まだまだ間がある。どうしたらいいかわからない。
- ◆特掃に月5・6回行きたい。月3万円の収入があれば、生活が楽になる。体力が維持できる。体が全壊しないので、睡眠をとれず体を悪くしてしまう。
- ◆収入は月三回の特掃と一日千円弱のアルミ缶回収のみだ。ここ何年間食堂に入ったことがない。百円の期限切れ弁当を買っている。
- ◆シェルターは虫がいて、それでも雨の日には助かる。アルミ缶回収で細々と食べているが、特掃の日には、安いドヤ、風呂に入れ、安物でも満足に食べられる。
- ◆2年前は土工、大工で働いていた。月3回の特掃ではおかしな買い物ができない。ヘルパーは一日一回。
- ◆特掃に行けた日は本当にうれしい。一生懸命やっていると、仕事をしているときは生きがいを感じる。
- ◆特掃だけが生命のつなぐ。これ以上特掃がなくなると、体調をくずして入院することになる。
- ◆食事は期限切れ弁当とパン。アルミ缶を集めて、子供に石を投げられたり、ひどい差別的なことを言われる。
- ◆雨の日や晴れの日、野宿している。(シェルターはしらみがある)。収入がある時は百円弁当、その時は一日二食、それ以外は炊き出し。
- ◆先月までのマイナス数値がすべてプラス数値に転換した。やっと、寄場も活気が感じられる。労働者の顔にもことごとく、余裕が見られる。このまま、8月の益まで順調に仕事が出ることを期待したい。ただ、今年の気温は平年よりおおよそ度も高く、きびしい日々が続いています。からだにはくれぐれも気を付けてください。

熱中症を防ごう

炎天下やムシ暑い現場では、大量の汗をかき、身体の中から水分と塩分などを奪われてしまい、脱水症状・熱中症などになることがあります。こまめに水分と塩分の補給をしましょう。

6月の求人情報

6月の求人数	対前月増減比		前年同月増減比	
	人数	増減%	人数	増減%
現金	43,152名	81%	-	-29%
契約延べ数	17,119名	28%	-	16.4%
内セタ-窓口	3,600名	78.7%	-	74.2%
高齢者高齢者紹介人数	6,604名	9.3%	-	3.5%

けんたいきょうてい
建退共手帳
預かっています

※シェルターでは月に一回消毒が
おこなわれているそうです。

カマヤん -350- 初お着



技能講習事業の科目と日程

受付 9時～10時
選考 10時～ 午後説明会

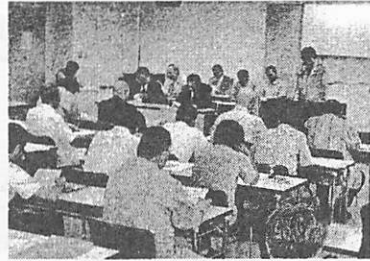
科目	人数	受付	日程
高所作業車 3日間	20人	7月20日 (火)	7月28日(水)～ 30日(金)
刈払機 安全衛生 教育 1日間	20人	7月22日 (木)	8月4日(水)
ショベル ローダー等 大特所持者 2日間	10人	8月5日 (木)	8月16日(月)～ 17日(火)
大型自動車 運転免許 通所コース 14日間	9人	8月10日 (火)	1組 8月18日(水)～ 10月15日(金) 2組 10月20日(水)～ 12月15日(水) (この間に14日間通所)
普通免許取得後2年経過者			
小型移動式 クレーン 3日間	20人	8月17日 (火)	8月30日(月)～ 9月1日(水)

詳しくは技能講習班窓口までお越し下さい。

事業所懇談会

センターでは毎年、求人事業所からいろいろな意見を聞き、交流をはかるために、「事業主懇談会」を開いてきました。今年度は、「事業主」以外の方々にも気軽に参加していただくため名称を「事業所懇談会」に改め、6月23日に28事業所の出席のもと開催しました。

前半は、日本銀行による「景気の動きと公共工事・民間工事にについて」と題した講演と、技能講習の話、労災についてのアンケート報告を行いました。後半はセンターの近年の紹介状況についての話のあと、事業所からは賃金相談や建退共、技能講習、雇用保険についての質問や意見



が出され、センターや関係機関からの応答がありました。また、センターからは事業所に対し、1人でも多くの地区労働者の求人をお願いをしました。

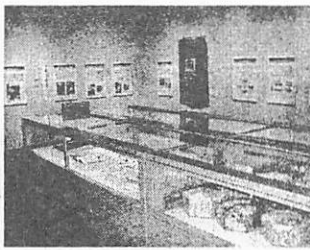
現代社会とホームレス

リバイイおおさか(人権博物館)にて、開設以来はじめて「ホームレスと生存権」の特別展示が開催された(6月22日～7月11日)。

ホームレス問題の深刻さが広がっている中で、時宜を得た展示ではあった。ただ、展示内容には、もう少し総合的にホームレス問題を浮きぼりにする工夫が必要のように感じた。

また、7月3日(土)に開催された特別企画シンポジウム「現代社会とホームレス」には100名近い出席者があり、この問題への関心の深さが感じられた。特に「ホームレス問題で比重の高い高齢者への対応が、単に

記念シンポジウム



生活保護で対応するだけではないのだろうか。保護受給後、地域社会にいかにとけ込んでいるのかこそが、今後の街づくりの中心に据えられねばならない」との提案が注目された。(S)

「犬に噛まれない五ヶ条」

犬に噛まれる相談が増えています。犬の習性を理解し、噛まれないための注意点をまとめてみました。

- 一、いきなり手を出してはいけない！
犬の目は、人よりずっと低い位置にあり、急に手を人より高く上げて噛む場合があります。なつた犬でも触る場合は、声をかけ背を低くして、ゆっくり近づきましょう。
 - 二、放し飼いの犬には近づかない！
犬は、なわばりを主張したり、飼い主を守るなど「外敵」に対して吠えたり、攻撃したります。放し飼いの犬には近づかないようにしましょう。
 - 三、急にかけたてはいけない！
野生時代、狩猟生活をしてきたため、逃げるものをつい追いかけてしまう習性があります。近づいて来ても、急にかけ出してはいけません。
 - 四、後ろを見せかけてはいけない！
犬には、群れをつくって集団で生活し、強いリーダーのもと集団型の狩猟を行う習性があります。向かってきたら一匹とあなどらず、後ずさりしながら離れましょう。
 - 五、早朝にも注意が必要！
犬はどちらかといえば夜行性動物です。早朝は寝ていて夜、活発に活動しますので、早朝、缶を集める時などにも注意が必要です。
- 犬は人間と共生してきた長い歴史があります。しかし、地区内には、噛む習性を身につけてしまった犬もいます。噛まれた時は保健センターまで届けして下さい。

犬も生きるのに必死？!

チョット聞いてや。三角公園で野球中継も終わって、帰ろうとしたんや。そしたら、車イスのおっさんが車止めで難儀してたんで押そうと手を出したとたん、突然一匹の犬がケツに飛びついてきたんや。振り放そうとしたら五匹の犬が突進してきて足を思いっきりガブリ。救急車でK病院に運ばれた始末や。なんせ歯が鋭く血管に穴を開けたため血が止まらん。相手は言葉がわからなだけに始末が悪いや。

救急隊の人の話では、車イスにまつわる被害は結構あるんやと。たぶん飼い主を守ろうとする犬の本能からくるんやろうと。それと、最近はずーぱーの買物袋をねらうひつたり犬も多く、その際かまれることも合わせて年間二百件を下らないという話だ。犬も食い食いが出来なくなり人の物に手を出したしたちゆうことだろう、えらい世の中や。(丁夫)

およびだし

たずね人

藪田 健一
古賀 義明
金光 成直 (敬称略)

川島 敏信 (兵庫)
滝本 美知子 (大阪)
澤本 拓郎 (大阪)
藤村 正一 (兵庫)
小坂 秀夫 (奈良)
黒子 保夫 (島根)
川上 昇五 (愛媛)
佐藤 洋司 (大阪)
村上 博文 (福岡)
正彦 成介 (大阪)
敏隆 (愛媛)
52 51 28 56 36 53 64 46 64 21 51 53
()内は出身地、年齢 (敬称略)
【1月1日～7月10日受付分】



7/1七夕まつり (三角公園)

6/4 全港湾西成分会、夏のソノメン代(夏一時金)支給の要求書を府・市等に提出

6/20 NPO釜ヶ崎支援機構年次総会

6/8 ソノメン代、モチ代の福利厚生措置事業あり方検討会議の報告書発表

釜ヶ崎日誌

結核検診

あいりん労働福祉センター北側で結核検診を受けた下記番号の方は特に注意を要します。医師による無料診断を行いますので、連絡して下さい!

《検診番号》

【6月1日検診分】
448・506
【7月6日検診分】
528・545・550・563・565
567・576・580・603

【連絡先】

大阪市保健所分室 (更生相談所3階)
TEL 6632-2600 次回検診 8月3日(火)

雇用保険業務取扱状況【あいりん労働公共職業安定所】

(表Ⅱ-12)

年度	項目	新求職者数	規 則 求職者数	年度末有効 求職者数	保険金給付実人員 (各月平均)	給付延べ日数
1999(平成11年)		2,215		13,932	9,354	1,325,759
2000(平成12年)		2,192		14,062	9,726	1,343,017
2001(平成13年)		1,519		12,710	9,397	1,311,069
2002(平成14年)		1,010		10,491	8,224	1,149,711
2003(平成15年)		950		9,027	7,067	991,085
2004(平成16年)		763		7,356	5,632	780,987

健康保険取扱状況【玉出社会保険事務所】

(表Ⅱ-13)

年度	項目	被保険者手帳				年度末 有効手帳	受給資格者証				受給資格 確 認	傷病手当 件 数
		新規	更新	再交付	計		新規	更新	再交付	計		
1999 (平成11年)		1,233	4,789	856	6,878	7,563	727	4,340	628	5,695	39,106	468
2000 (平成12年)		1,203	5,137	830	7,170	7,301	825	4,734	627	6,186	43,480	350
2001 (平成13年)		911	4,810	676	6,397	6,676	609	4,442	543	5,594	40,954	326
2002 (平成14年)		549	4,039	520	5,108	4,957	476	5,491	431	6,398	33,371	257
2003 (平成15年)		491	3,352	372	4,215	4,043	331	2,779	291	3,401	29,031	197
2004 (平成16年)		351	2,641	347	3,339	3,152	260	2,145	261	2,666	21,897	122

日雇労働者福利厚生措置事業状況

(表Ⅱ-14)

年度	項目	夏 期			冬 期			合計支給総額
		支給金額	支給人員	支給総額	支給金額	支給人員	支給総額	
1999 (平成11年)		16,900	12,810	216,489,000	18,400	12,648	232,723,200	449,212,200
2000 (平成12年)		16,900	12,683	214,342,700	18,400	12,749	234,581,300	448,924,300
2001 (平成13年)		16,900	12,461	210,590,900	18,400	12,012	221,020,800	431,611,700
2002 (平成14年)		16,900	10,724	181,235,600	18,400	9,840	181,056,000	362,291,600
2003 (平成15年)		16,900	8,948	151,221,200	18,400	8,401	154,578,400	305,799,600
2004 (平成16年)		16,900	7,516	127,020,400	18,400	7,208	132,627,200	259,647,600

Ⅲ 施設管理運営事業

1 日雇労働者福祉施設の受託経営

日雇労働者の就労斡旋並びに福祉の向上を目的に建設されたあいりん労働福祉センターの管理運営を大阪府から受託している。

受託事業の内容は、労働施設の機能を維持すること及び福利施設の経営である。

労働施設の具体的な機能としては、就労斡旋施設や日雇雇用保険・健康保険認定事務のための労働者の待合施設としての機能の維持である。

福利施設の運営に関しては、食堂・喫茶・売店・理髪店・シャワールームなどの経営委託の他、小間割店舗への施設貸付業務を行ない、低廉で行き届いたサービスがされるよう委託業者等の指導を行なうことにより、施設利用労働者の福利厚生を図った。(表Ⅲ-1、表Ⅲ-2)

(1) 施設管理業務

あいりん労働福祉センターのシャッターの開閉業務、娯楽施設の適正な利用、受電設備等の維持管理、防火管理、衛生管理、施設内の秩序維持、場内指導等の日常業務を適正に行ない、日雇労働者福祉施設の機能維持を図った。

管理室を訪問した労働者 月平均 135名

(2) 福利施設事業者等への指導

食堂・喫茶・売店・シャワールームや理髪店等の委託業者及び小間割店舗の業者に対して指導を行ない、施設利用労働者の福利厚生の上昇を図った。

食堂・喫茶・シャワールーム等の委託業者 6業者 8店舗
小間割店舗の業者 17業者 18店舗

(3) 環境美化業務

あいりん労働福祉センターの環境美化を図るため日常清掃、消毒、放置自転車の整理、落書きの始末等を行なった。

放置自転車の整理 日平均 103台
自転車の処理(撤去) 年間 179台
落書き 月平均 4件

(4) 事故対策業務

シャッター閉鎖時の妨害・暴行傷害行為への対応、焚火の始末、設備等破損の修復、便所・下水の詰まり等への対応措置を行なった。

職員への業務妨害・暴行傷害 年間 187件

(5) 労働者救護業務

あいりん労働福祉センター内において負傷・疾病労働者の救護や泥酔者の緊急保護を行なった。

月平均 5名

2 あいりん労働福祉センター特別清掃事業

あいりん労働福祉センターの環境美化と、就労機会の減少している地区高年齢日雇労働者の就労機会の確保を図るため、特別清掃事業を実施した。

月平均 597名
(表Ⅲ-3)

平成16年度 あいりん労働福祉センター管理室の主な業務状況
(表Ⅲ-1)

区 分	業 務 の 内 容	年 間 数	月 平 均
主 な 業 務 の 実 施 状 況	負傷者・病人の救助	69名	5名
	盗難事件の措置	1件	件
	変死者の措置	1名	名
	消火活動・焚火の始末	18件	1件
	場内放置自転車の処理（撤去）	179台	14台
	落書きの始末	56件	4件
ト の ラ 発 生 ル 状 等 況	シャッター閉鎖時の妨害 職員に対する暴行・傷害	187件	15件
	泥酔者の連れ出し	11,237名	936名
	設備等の破損	149件	12件

平成16年度あいりん労働福祉センター利用状況表

(表Ⅲ-2)

施設区分	施設委託業者(6業者8店舗)		小間割売店(17業者18店舗)	
	利用延人数	営業日数	利用延人数	営業日数
4月	79,434	197	27,038	343
	64,630	206	26,282	351
5月	86,993	199	27,723	346
	68,461	179	24,443	341
6月	76,399	197	27,815	376
	82,036	211	26,362	360
7月	81,733	205	26,857	357
	76,161	197	24,914	346
8月	94,597	196	26,282	331
	78,294	210	26,751	331
9月	88,920	192	30,789	361
	67,833	184	26,491	345
10月	83,766	206	32,782	370
	76,443	193	28,503	333
11月	75,925	174	27,161	322
	68,685	196	27,830	330
12月	74,411	177	27,284	317
	51,211	184	27,279	324
1月	66,597	177	23,838	288
	59,282	169	25,006	298
2月	74,279	181	24,722	316
	66,697	155	24,462	308
3月	69,220	216	27,961	306
	77,481	178	30,016	342
計	952,274	2,317	330,252	4,033
	837,214	2,262	318,339	4,009
前年対比	87.9%	97.6%	96.4%	99.4%

※ 上段は平成15年度

平成16年度 あいりん労働福祉センター特別清掃事業作業員就労状況表

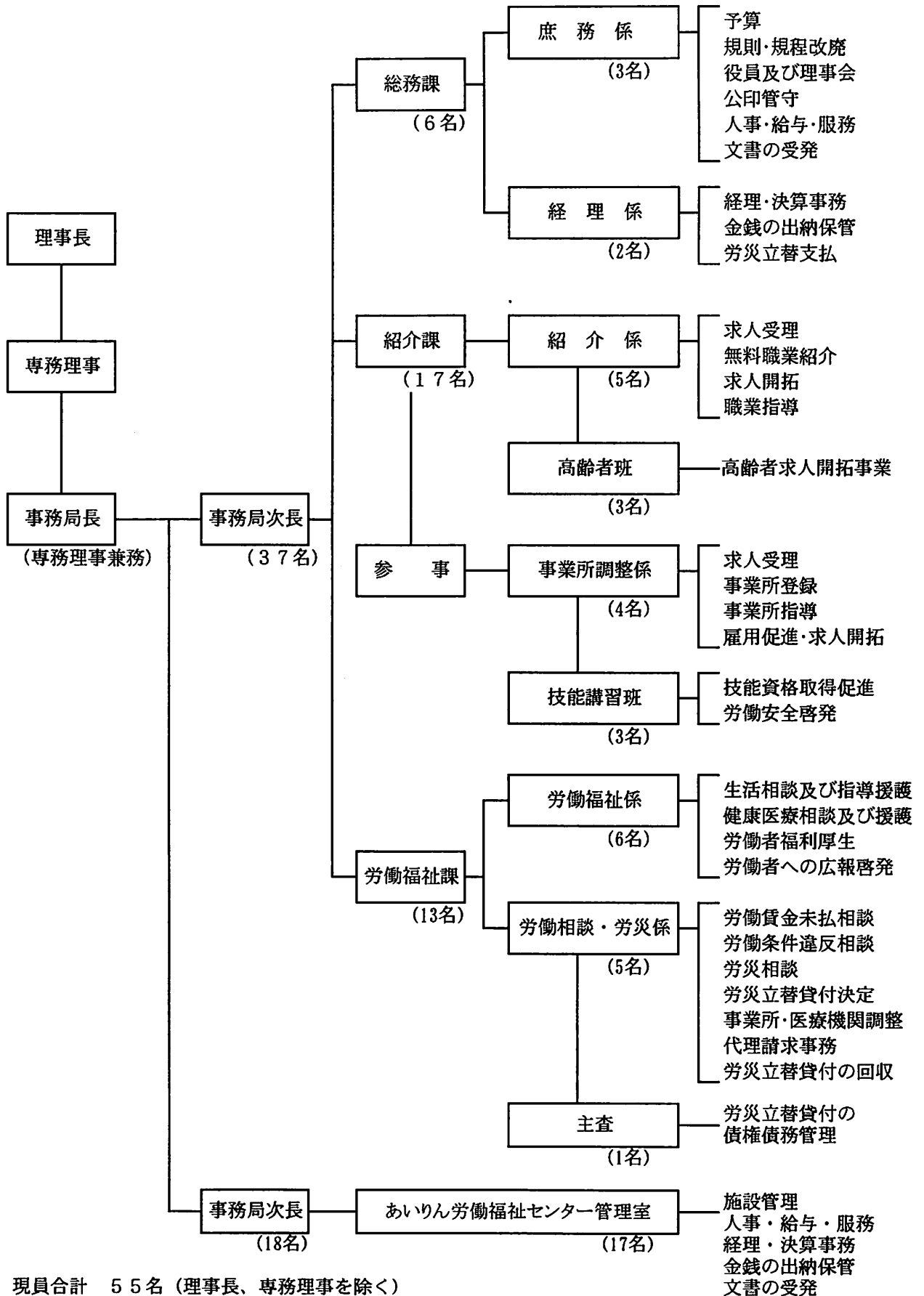
(表Ⅲ-3)

	就 労 者 人	不 就 労 者 人	合 計 人
4 月	597	3	600
5 月	615	5	620
6 月	600	0	600
7 月	618	2	620
8 月	617	3	620
9 月	595	5	600
10 月	611	9	620
11 月	598	2	600
12 月	596	4	600
1 月	557	3	560
2 月	553	7	560
3 月	612	8	620
合 計	7,169	51	7,220
前年度	7,190	50	7,240

組 織 図

平成17年4月1日現在

(分 担 事 務)



現員合計 55名 (理事長、専務理事を除く)

沿 革

1961 (昭和 36) 年 8 月 1 日	釜ヶ崎事件
1961 (昭和 36) 年 9 月 1 日	大阪府労働部西成分室開設
1962 (昭和 37) 年 9 月 28 日	無料職業紹介事業許可 (労働省収職第 1420 号)
1962 (昭和 37) 年 10 月 1 日	財団法人西成労働福祉センター設立
1962 (昭和 37) 年 12 月 17 日	第 1 回事業主懇談会
1963 (昭和 38) 年 6 月 10 日	求職の登録制度開始
1964 (昭和 39) 年 9 月	日雇労働者健康保険加入手続き事務開始
1965 (昭和 40) 年 4 月	日雇労働者失業保険加入手続き事務開始
1966 (昭和 41) 年 4 月 1 日	労災立替貸付業務開始
1966 (昭和 41) 年 6 月	釜ヶ崎を「あいりん地区」と呼称
1970 (昭和 45) 年 10 月 1 日	あいりん総合センター開所 (事務所移転)
1970 (昭和 45) 年 12 月 30 日	求職の登録制度廃止
1972 (昭和 47) 年 8 月 1 日	大阪府労働部に特別対策室設置
1974 (昭和 49) 年 6 月 28 日	事務局組織改正 (3 部制を 4 課 6 係制に) 労働相談窓口専門化
1975 (昭和 50) 年 8 月	日雇労働者福利厚生措置、財団で取扱開始
1976 (昭和 51) 年 11 月 1 日	事業所登録制度始める
1977 (昭和 52) 年 11 月 28 日	第 1 回就労正常化促進週間実施
1978 (昭和 53) 年 1 月 30 日	「センターだより」創刊
1978 (昭和 53) 年 6 月 12 日	事務所内に玉出社会保険事務所窓口開設
1980 (昭和 55) 年	「労働者便利帳」発行
1981 (昭和 56) 年 3 月 5 日	「将棋愛好者の集い」を開催
1981 (昭和 56) 年 6 月	窓口紹介、集中公開方式始める
1981 (昭和 56) 年 9 月 3 日	第 1 回たそがれコンサート開催
1983 (昭和 58) 年 5 月 18 日	事務局組織改正 (4 課 8 係) 事業所係、労働相談係設置
1989 (平成元) 年	日雇 (現金) 求人数センター発足以来最高の年に
1991 (平成 3) 年 4 月 1 日	事務局組織改正 (3 課 6 係 2 班)
1993 (平成 5) 年	技能講習 (ガス溶接、アーク溶接) 開始
1994 (平成 6) 年 11 月	特別清掃事業実施 (大阪府・市)
1995 (平成 7) 年	技能講習 [車両系 (整地、解体)] 開始
1997 (平成 9) 年 4 月 1 日	事務局組織改正 (3 課 6 係 2 班) 紹介課高齢者班設置、労働福祉課労災係管理班廃止
2000 (平成 12) 年 4 月 1 日	あいりん地区日雇労働者厚生事業開始
2000 (平成 12) 年 4 月 13 日	事務局組織改正 (3 課 6 係 3 班) 労働福祉課労災係労働安全班設置
2001 (平成 13) 年 4 月 1 日	事務局組織改正 (3 課 6 係 2 班) 紹介課事業所調整係技能講習班設置、労働福祉課労働 相談・労災係設置、紹介課事業所調整係労働相談班 廃止、労働福祉課労災係及び労災係労働安全班廃止
2001 (平成 13) 年 6 月 29 日	厚生労働省から日雇労働者技能講習事業を受託
2001 (平成 13) 年 11 月 1 日	あいりん労働福祉センター管理室を移管統合

守 ろ う 人 権

明 る い 社 会

経 験 豊 かな 労 働 力

高 齢 労 働 者 の 雇 用 は セ ン タ ー へ

財団法人 西成労働福祉センター

〒557-0004 大阪市西成区萩之茶屋1丁目3番44号

求 人 : 06-6632-3200 高 齢 者 班 : 06-6633-7998

技 能 講 習 : 06-6641-0325 (技) FAX : 06-6641-0320

労 働 福 祉 : 06-6641-0296 相 談 労 災 : 06-6634-6535

総 務 : 06-6641-0131 F A X : 06-6641-0297

管 理 室 : 06-6632-1552